



# 冬におすすめの本

心温まるおはなし、クリスマスにちなんだ物語など、冬におすすめの本を紹介します。

## 冷たい校舎のときは止まる/辻村深月著

雪降るある日、いつも通りに投降した男女8人が、学校に閉じ込められた。そんな中で思いめぐらせたのは、学園祭の最中に死んだ同級生のこと。そして、一人一人のさみしさや苦悩。

冷たい教室の中でともに過ごし、気持ちを分かち合えるような気がする作品です。

## 飛ぶ教室/エーリッヒ・ケストナー作

寄宿学校で上演される劇の練習をする少年たち。クリスマスを目前に迎えた数日に起こった出来事で、彼らは様々なことを感じ、考え、学び、成長していきます。

懐かしくもあり、切なさ、大切な人を思う気持ちが、読む人の心を温かくします。

## 銀の檻を溶かして/高里椎奈著

小学校の校庭に雪が積もり、一夜にして100mものミステリーサークルが出現！しかも雪が解けた後に、他殺死体が発見される。

薬屋の美男トリオが裏の顔、探偵稼業で本領発揮。初の難事件に挑む。

## デビクロくの恋と魔法/中村航著

ヘタレな書店員・光には意外なもう一つの顔がある。「デビクロ」というキャラに変身して、夜な夜な「デビクロ通信」なるピラを無差別に配りまくる。そんな彼が恋におちたら…。

クリスマスを舞台に、キュンして、心温まる物語。

## スキッピング・クリスマス/ジョン・グリシャム著

毎年行っているクリスマスのもろもろを今年はスキップすると宣言した夫婦は、カリブ海クルーズを計画。しかしご近所さんや、友人、職場の人たちまで、あらゆる人たちから避難轟々。アメリカを舞台としたホームコメディですが、日本人の私たちもなんだか他人事とは思えないお話です。

## ライオンと魔女/C. S. ルイス作

疎開先の古くて大きな屋敷にある衣装ダンス。4人兄弟はそこから雪の降り積もる不思議な世界へと入り込みます。白い魔女に支配され、永遠に冬の国となっているのは、ナルニアという国でした。

4人兄弟はナルニアを救うため、正義のライオンとともに白い魔女に立ち向かいます。

## キャロリング/有川浩著

つらい状況に追い込まれている家族と、その周囲の人たち。でも身近に、だれか、自分を大切に思ってくれている人がいれば、なんとかやっつけていけるのかもしれない。

人間はどうしても他人と自分を比べてしまいうけど、腐らずに前を向いて生きていきたい。誰かが自分を支えてくれている、と思いつながら…。

## サンタのおばさん/東野圭吾作、杉田比呂美画

サンタクロース会議が今年も開かれます。今回はアメリカのサンタ引退のため、後任のサンタを決めるのが議題。そして新任として現れたのは、女性でした。

日頃いかに常識にとらわれて生活していることに気付かされるお話。気持ちが伝わるということは、姿形を超えて素直に相手に通じることなんですね。大人が楽しめる絵本。

